

# 1

## Photoshop からのワークフロー

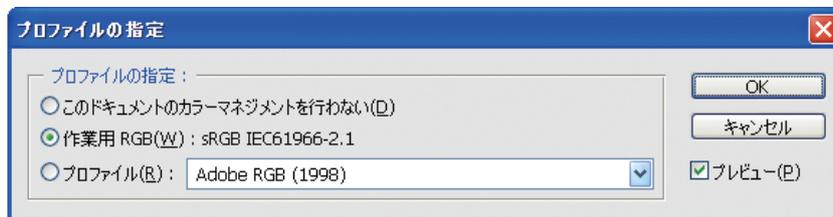
この章では Adobe Photoshop から imagePROGRAF に印刷する際のノウハウを紹介します。Photoshop から imagePROGRAF に印刷する方法には主に 3 通りの方法があります。

- imagePROGRAF プリンタドライバを使用した印刷
- imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop を使用した印刷
- Photoshop で色変換処理を行った印刷 ( プリンタドライバを使用 )

それぞれの印刷方法について説明します。

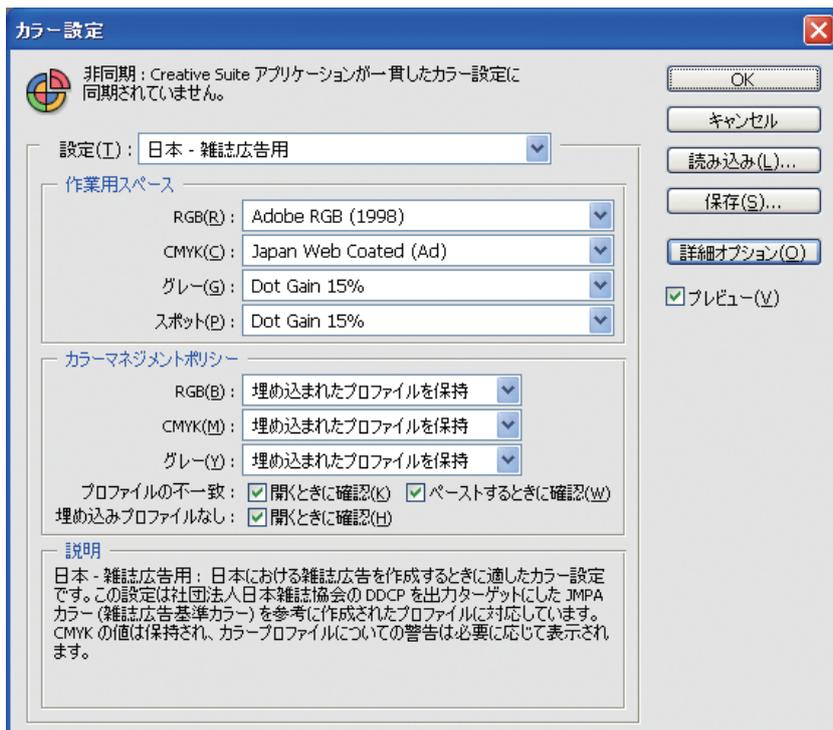
### 1 事前準備

印刷を始める前に、あらかじめ印刷する画像データの色空間を確認しておきましょう。Photoshop のメニューから [ 編集 ]-[ プロファイルの指定 ] を選ぶと、現在開いている画像データの色空間 ( プロファイル ) を確認することができます。



デジタルカメラで撮影された画像データであれば、多くの場合 sRGB か Adobe RGB になっているでしょう。

また、画像データを開く際に、思わぬ色変換が自動的に行われないようにするには、[ 編集 ]-[ カラー設定 ] でカラー設定ダイアログを開き、「プロファイルの不一致」や「埋め込みプロファイルなし」の欄のチェックボックスを ON にしておくといいでしょう。



## 2 Photoshop からプリンタドライバを使って印刷する

Photoshop からの印刷において正しく CMS を行うポイントは Photoshop のプリントダイアログでの設定項目「カラー処理」で、

- ・ Windows では「カラーマネージメントなし」を選択
  - ・ Mac OS X では「プリンタによるカラー管理」を選択
- することです。

(OS によってアプリケーションとプリンタドライバ間の CMS の取り決めが異なるため、Windows と Mac で最適な設定が異なります。)

適切な「カラー処理」を選択しておくことで、Photoshop からプリンタドライバに画像データが渡される際に思わぬ色変換が行われるのを防止することができます。

### 「カラー処理」の設定方法

メニューから [ファイル]-[プリント] を選びプリントダイアログを開きます。

- (1) プリンタ : 使用する imagePROGRAF プリンタを選択します。
- (2) 「カラーマネージメント」を選びます。
- (3) カラー処理 : Windows では「カラーマネージメントなし」を、Mac OS X では「プリンタによるカラー管理」を選びます。



次はドライバ側で正しくカラーマネージメントするための設定が必要になります。

「カラーマネージメントなし」を選んだら、[プリント] ボタンを押します。印刷ダイアログが開きます。

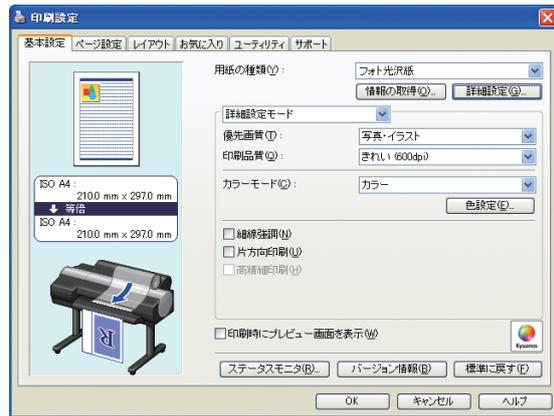
[詳細設定] ボタンを押して、印刷設定ダイアログを開きます。



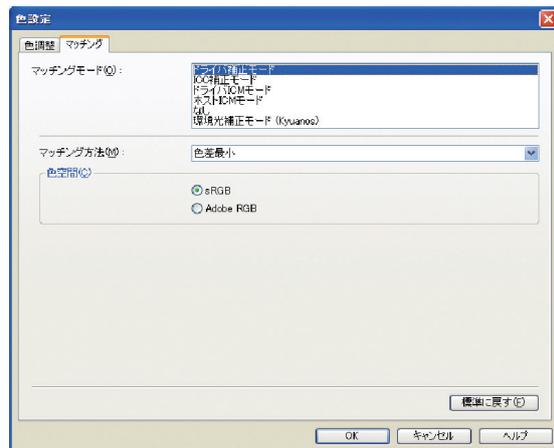
印刷設定ダイアログの中で " 詳細設定モード " を選択します。

以下の項目を正しく選択してください。

- 用紙の種類
- 優先画質
- 印刷品質



次に [色設定] ボタンを押して色設定ダイアログを表示し、" マッチング " タグを選択します。



このマッチングタグの設定がドライバでのカラーマネージメントするためのキーになります。

#### 印刷する画像が sRGB または Adobe RGB の場合

まずは、以下の設定を試してみてください。

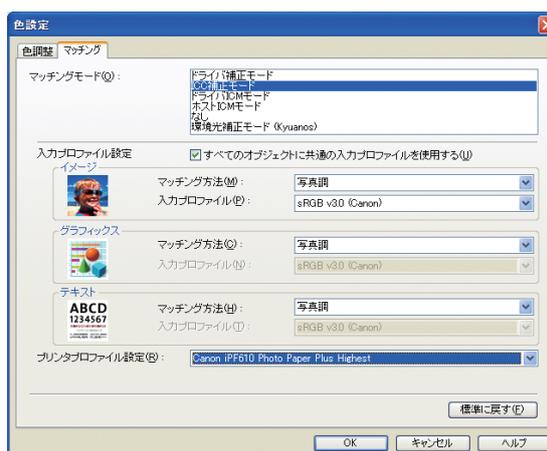
設定項目	設定値
マッチングモード	ドライバー補正モード
マッチング方法	写真調 または 色差最小
入カプロファイル	sRGB / Adobe RGB

マッチング方法で、「写真調」を選ぶとモニタ表示とのマッチングと階調再現性のバランスに優れた画像が印刷されます。

一方、「色差最小」を選ぶと測色値としてより厳密に sRGB や Adobe RGB にマッチングさせた画像が印刷されます。ただしプリンタの色再現範囲外の階調性は低下します。

画像によって「写真調」と「色差最小」を使い分けると良いでしょう。

自分で作成したプリンタ用 ICC プロファイルや、メディアベンダーから提供されている ICC プロファイルを使用する場合には、以下の設定で印刷してください。

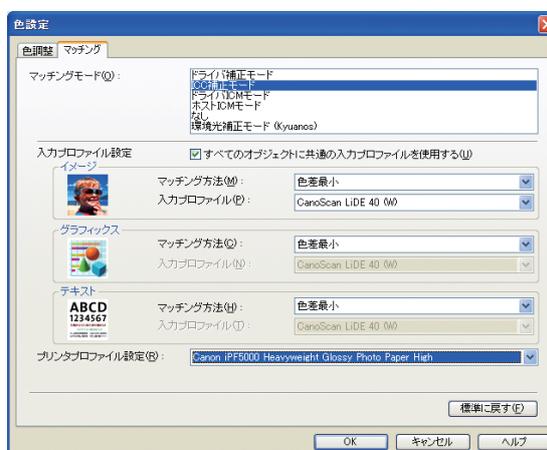


設定項目	設定値
マッチングモード	ICC 補正モード
マッチング方法	写真調 または 色差最小
入力プロファイル	sRGB v3.0 (Canon) / Adobe RGB (1998)
プリンタプロファイル設定	使用するプリンタ用 ICC プロファイル

#### 印刷する画像が sRGB または Adobe RGB 以外の場合

入力画像が sRGB や Adobe RGB 以外の RGB 画像の場合には以下の設定で印刷を行ってください。

画像の ICC プロファイルは Photoshop の「プロファイルの指定」ダイアログで確認したものを指定してください。



設定項目	設定値
マッチングモード	ICC 補正モード
マッチング方法	写真調 または 色差最小
入力プロファイル	画像の ICC プロファイル
プリンタプロファイル設定	「自動設定」またはプリンタ用 ICC プロファイル

マッチング方法で、「写真調」を選ぶとモニタ表示とのマッチングと階調再現性のバランスに優れた画像が印刷されます。

一方、「色差最小」を選ぶと測色値としてより入力画像にマッチングさせた画像が印刷されます。ただし、プリンタの色再現範囲外の階調性は低下します。

画像によって「写真調」と「色差最小」を使い分けると良いでしょう。

自分で作成したプリンタ用 ICC プロファイルや、メディアベンダーから提供されている ICC プロファイルを使用する場合には、プリンタプロファイル設定で所望のプロファイルを選択してください。それ以外の場合は「自動設定」を選択しておきます。

以上、マッチングタグの設定が完了したら [OK] ボタンを何度か押して印刷ダイアログに戻ります。



印刷ダイアログで [印刷] ボタンを押します。 imagePROGRAF からカラーマネージメントされた画像が出力されます。

以上のように ICC プロファイルを使用して印刷を行う場合の設定のポイントを以下にまとめておきます。

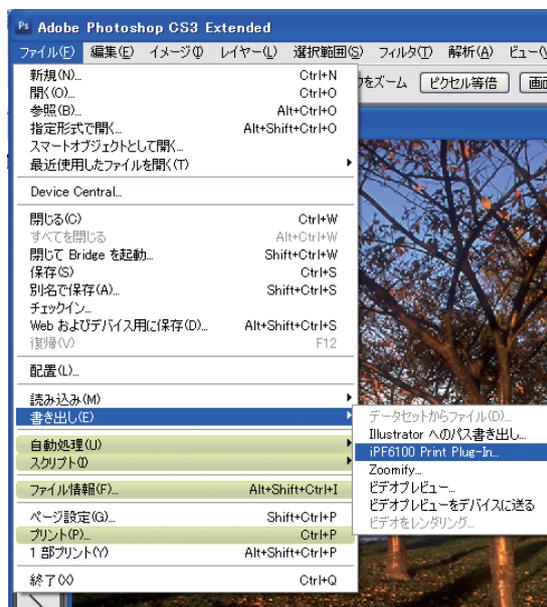
- Photoshop 側の設定を「カラーマネージメントなし」にする
- 印刷画像が sRGB か Adobe RGB で、ICC プロファイルがない場合にはならドライバ補正モードで印刷する
- 印刷画像が sRGB か Adobe RGB 以外ならマッチングとして ICC 補正モードで印刷する
- プリンタ用の ICC プロファイルを使用する場合も ICC 補正モードで印刷する

### 3 Photoshop から Print Plug-In を使って印刷する

Adobe Photoshop から imagePROGRAF に印刷する際、より高精度かつ簡単に出力するために専用ソフトウェア imagePROGRAF Print Plug-in for Photoshop が用意されています。

ここで Print Plug-in を使った印刷を紹介します。

Plug-In はメニュー [ファイル]-[書き出し]-[iPFxxxx Print Plug-In] で呼び出します。



Print Plug-In の第 1 画面です。



プレビューのポイントは以下の通りです。

- 画面の左側にはプレビューが表示され、実際に印刷する画像を確認しながら作業できます。
- プレビュー設定が「印刷範囲レイアウト」になっていると、出力用紙に対する印刷位置を確認しながら作業できます。マウス操作により画像の印刷位置を調整することもできます。
- プレビュー設定を「画像」にすると画像のみが表示され、画像の状態に集中して作業できます。また、マウス操作により画像の一部を印刷範囲として指定(トリミング)することもできます。
- プレビュー設定を「ロール紙プレビュー」にすると、ロール紙に対する出力用紙および画像の位置を確認しながら作業できます。
- 「プレビューでプルーフを行う」を ON にすると、実際に印刷される色みのイメージを画面上にシミュレーションすることができます。ご使用の環境や条件等により、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なるケースがあります。また、[出力プロファイル]に、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。
- 「プレビューでプルーフを行う」は基本的に [出力プロファイル] に ICC プロファイルを選択した場合に有効です。[出力プロファイル]に [自動(カラー)] を選択した場合でも、一部の用紙の種類(フォト用高品位メディアの一部)に対しては有効となります。
- Windows ではダイアログ右上の最大化ボタン、Mac 版では [ダイアログを最大化する] ボタンを押すことで、プレビュー画面を拡大した状態で作業できます。

プリントのカラーマネージメントに関連した設定は「基本設定」タグに集約されています。「基本設定」タグの設定ポイントを説明します。

ダイアログの右側には用紙の種類や印刷モードなど基本的な設定項目が並んでいます。上から下に向かって設定を行っていくとスムーズに操作できるようになっています。



(1) プリンタ: Canon iPF6100 [選択(E)]

(2) 用紙の種類(P): 厚コート紙 [詳細設定(A)...]

(3) プラグインへの入力解像度(L):  精細 300ppi  高精細 600ppi

(4) プラグインへの入力ビット数(I):  高階調 8bit  最高階調 16bit

(5) 印刷モード(M): きれい(高精細)

(6) 出力プロファイル(R): 自動(カラー)

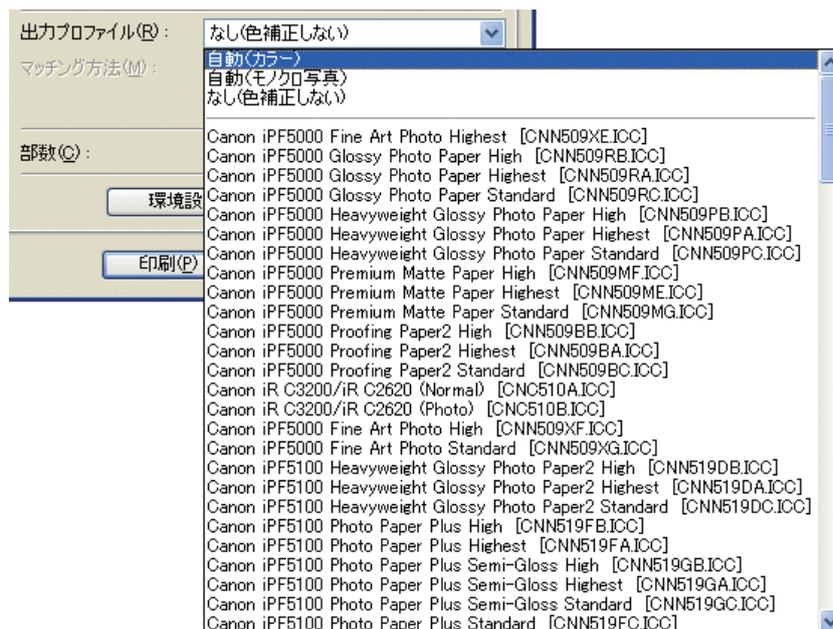
(7) マッチング方法(M): 知覚的

部数(C): 1 部 (1~99)

環境設定(U)... 標準に戻す(R)

印刷(P) 終了(Q) ヘルプ(H)

- (1) 使用する imagePROGRAF を選択してください。
- (2) 次に用紙の種類を選びます。インク乾燥時間など用紙ごとの細かな設定を行う場合には [ 詳細設定 ] ボタンを押して設定します。
- (3) Photoshop から Print Plug-In にデータを渡す際の解像度を 300ppi と 600ppi のどちらかから選びます。(ppi は pixels per inch の略です。) 高精細な再現を望む場合には 600ppi を選んでください。用紙の種類によっては、どちらか一方に決まる場合があります。
- (4) プラグインへの入力ビット数を選びます。グラデーションをより滑らかに再現する場合などに 16bit を選んでください。用紙の種類や入力解像度によっては 16bit の選択はできない場合があります。
- (5) 印刷モードとして以下の一部が選択可能となります。  
速い / 標準 / きれい / きれい (高精細)  
選択できる項目は (1) ~ (4) までの設定に応じて変わります。
- (6)&(7) 出力プロファイルとマッチング方式を選択します。ここがカラーマネージメントでは重要なポイントとなります。以下を参考に最適な設定を見つけ出してください。



### 出力プロファイル:自動(カラー)

設定した印刷条件に基づき最適なカラープロファイルが自動的に選択されます。imagePROGRAF プリントドライバの「ドライバ補正モード」と同様のカラープロファイルが使用されます。キヤノン純正メディアの場合、あるいは純正メディアに類似したメディアに対して、最も品質の高い出力結果が得られるモードです。

以下のマッチング方式が選択できます。

- ・知覚的
- ・知覚的(人肌・暗部優先)
- ・彩度
- ・相対的な色域を維持

### 出力プロファイル:自動(モノクロ写真)

モノクロ写真を印刷するのに最適なカラープロファイルが自動的に選択されます。imagePROGRAF プリントドライバのカラーモード「モノクロ(写真)」と同様のカラープロファイルが使用されます。

### 出力プロファイル:なし

色あわせのためのカラープロファイルを使用せずに印刷します。プリンタの色再現範囲を最大限活用して印刷が行われます。ICC プロファイルを作成するためにカラーチャートを印刷する場合や、Photoshop 側でカラーマネージメントを済ませた画像を印刷する場合に使用してください。

### 出力プロファイル:その他の ICC プロファイル

プリンタ用の ICC プロファイルを選びます。プロファイル作成ツールなどで作成した ICC プロファイルなど、使用したい ICC プロファイルをここで選んでください。

以下のマッチング方式が選択できます。

- ・知覚的
- ・彩度
- ・相対的な色域を維持

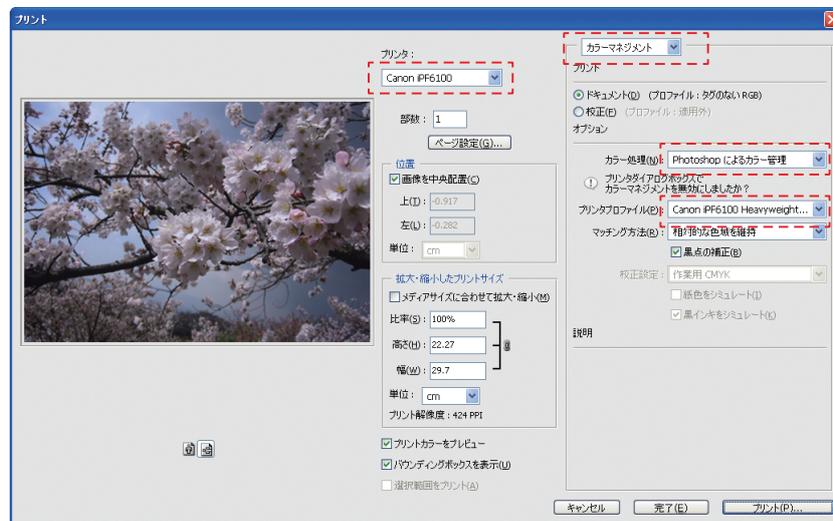
## 4 Photoshop のカラーマネージメント機能を使用した印刷

プリンタ用の ICC プロファイルが利用できる場合には、Photoshop 上でカラーマネージメントを行い印刷することも可能です。ドライバでカラーマネージメントする場合と結果はほとんど変わりませんが、どうしても Adobe Photoshop のカラーマネージメントを使用したい場合には以下の設定で印刷を行ってください。

### Photoshop 側でカラーマネージメントする際の設定方法

メニューから [ファイル]-[プリント] を選びプリントダイアログを開きます。

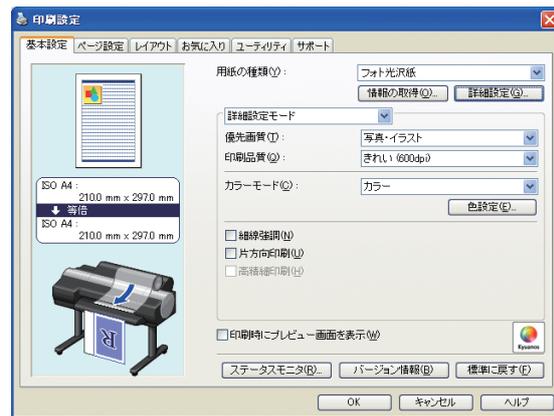
- (1) プリンタ : 使用する imagePROGRAF プリンタを選択します。
- (2) 「カラーマネージメント」 を選びます。
- (3) カラー処理 : 「Photoshop によるカラー管理」 を選びます
- (4) プリンタプロファイル : 一覧の中からプリンタプロファイルを選択します。



[プリント] ボタンを押します。印刷ダイアログが開きます。



[詳細設定] ボタンを押して、印刷設定ダイアログを開きます。

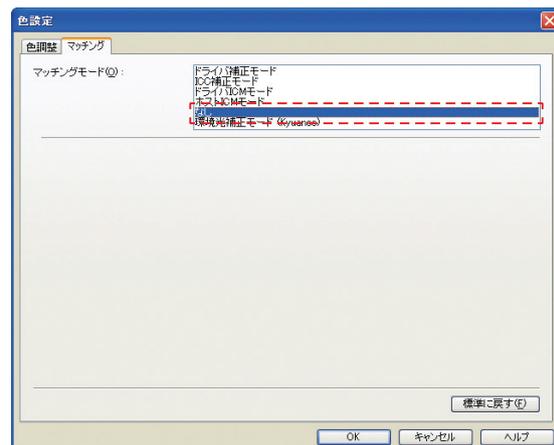


"詳細設定モード" を選択します。詳細設定モードの画面に切り替わります。

印刷条件を正しく選んでください。特に以下の項目を正しく選択してください。

- ・用紙の種類
- ・優先画質
- ・印刷品質

次に [色設定] ボタンを押して色設定ダイアログを表示し、"マッチング" タグを選択します。



マッチングモードの中から "なし" を選択します。  
[OK] ボタンを何度か押して印刷ダイアログに戻ります。

印刷ダイアログで [印刷] ボタンを押します。 Photoshop でカラーマネージメントされた画像が imagePROGRAF から出力されます。

以上のように Photoshop でカラーマネージメントして印刷する際のポイントは以下の 2 点です。

- ・ Photoshop 側の設定で「Photoshop によるカラー処理」を選び、正しいプリンタプロファイルを選択する。
- ・ マッチングとして「なし」を選択する。

### 【iPF6300、iPF6350、iPF8300 の変更点】

iPF6300、iPF6350、iPF8300 では色補正なしの設定はカラーモードのプルダウンメニューへ変更となりました。

